

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 火 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	生体の構造(器官構造・機能と疾病) Structural and Molecular Biology (Structure and function of human organs, and their diseases)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人間科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:関根一郎 /Eメールアドレス:sekine@nagasaki-u.ac.jp/研究室:大学院医歯薬学総合研究科原研病理/ オフィスアワー:木曜日 13:00~17:00			
担当教員(オムニバス科目等)	中島正洋 中山敏幸		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業の狙い:国民の健康への関心が高まっているなか、社会人として、人体についての基礎的な知識を学ぶことは意義深いと考える。本授業では、人体臓器の基本的な構造、生理的機能を学び、その破綻である疾病と病態を理解することを目的とする。 授業方法:教科書は用いず、授業計画に沿ったプリントや資料を配付する。参考文献は適宜照会する。 授業到達目標:主要臓器の構造と機能、及び代表的疾病の概略を説明できるようにする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 消化器・呼吸器・循環器・泌尿器・内分泌系・リンパ造血器・皮膚・感覚器・泌尿器・生殖器の構造・機能・疾病について。 第1回 消化器(消化管)の構造・機能 第2回 消化器(肝・胆・膵)の構造・機能 第3回 呼吸器の構造・機能 第4回 呼吸器の疾病 第5回 循環器の構造・機能 第6回 消化器の疾病 第7回 脳神経系の構造・機能と疾病 第8回 循環器の疾病 第9回 泌尿器の疾病 第10回 内分泌系の構造・機能と疾病 第11回 リンパ・造血器の構造・機能と疾病 第12回 皮膚・感覚器の構造・機能と疾病 第13回 泌尿器の疾病 第14回 生殖器の構造・機能と疾病 第15回 まとめ			
キーワード			
教科書・教材・参考書	講義ごとに配布するプリント。		
成績評価の方法・基準等	毎回レポートを提出させ(100%)評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			